

CHALLENGE21



創刊号

チャレンジ21/1997年1月1日発行/第1巻第1号(通巻1号)/発行:全国障害者福祉援護協会

21世紀に向け「福祉新時代」の 発信地にしてゆきたい。

新年明けましておめでとーございませう。

旧年中は皆様方より並々ならぬご協力ご支援賜り衷心より御礼申し上げます。また昨年11月18日に行われました、当協会の「発足記念チャリティーパーティー」では、あらゆる方面から数多くの方々にご臨席賜り誠にありがとうございました。

改めて本誌を通じ厚くお礼申し上げます。

なお、本年は皆様方のご期待にこたえるべく、役員一同努力いたす覚悟でございますので、なにとぞ倍旧のご支援ご協力のほどお願い申し上げます。



理事長 永田 近

(鉄鋼労連 日本鋼管製鉄労働組合連合会
前中央執行委員長)

「全国障害者福祉援護協会」は一九八二年より横浜市を中心に視覚障害者、薬物依存症、アルコール中毒症など各種障害者団体に対して、財的、物的、人的支援の活動をしてきましたボランティア団体「横浜チャレンジメン援護協会」を母体にして設立された協会でありませう。

私はこのボランティア団体でありませう。

「横浜チャレンジメン援護協会」に細々ではありませうがお手伝いをさせて頂いておりました。こうした経過もあり日本鋼管製鉄労働組合の役員を退任することを機に「全国障害者福祉援護協会」の理事長に就任することとなりました。

「全国障害者福祉援護協会」の設立に際しましては、多くの方々にご支援、

ご協力を賜り、特に日本身体障害者団体連合会会長であり、日本盲人会連合会長でもあります村谷昌弘様には大変なご指導と激励を頂き衷心より感謝申し上げますと存じます。

「全国障害者福祉援護協会」は活動の基本に三本の柱を持って21世紀の「福祉新時代」の創造に向かって運動を展開して参ります。

1. ノーマライゼーションの理念の全国普及

国内における障害者福祉はハード面では国や地方自治体などのご努力もありかなり進んで来ていると言えませう。しかしソフトの面いわゆる心の面では諸外国に比べてまだまだ遅れているのが現状であります。

各地でフォーラムやディスカッションなどを開催し、障害者と健常者がお互いに意見交換しながら、すべての人が普通に生活できる社会創りに向かって運動を展開して参ります。

2. 障害者団体への財的、物的、人的支援

各種のチャリティーイベントなどを開催しながら財的、物的支援をして参

りたいと考えております。さらにはボランティア要員の登録制度を導入し各人が出来るものを、出来る時間に、出来る所で、出来る範囲でやる。あくまでも無理をしないで続けるられるようなシステムの下でボランティア活動へ参加の手伝いをして行きたいと思っております。

3. 高齢障害者の福祉の拡充

2025年には4人に1人が65才以上といった高齢化社会が到来することは間違ありません、こうした中で行政も公的介護保険の制定に努力してはいますが、いずれにしても税金か保険料があるいは受益者負担がお金がかかることになりませう。

こうした中で、例えばある年齢に達した若い人が学生は休学、社会人は退職をし一定期間社会奉仕を行うなどあつても良いのではないかとと思ひませう、民間人として何が出来るのか、何をしなければならぬのか、研究し提言できればと考えています。

以上三本の柱を「全国障害者福祉援護協会」の活動のコンセプトとしながら「福祉新時代」を認識し全国に向けて運動を展開して行くことと致しませう。今後とも皆様の暖かいご支援、ご協力を賜りますよう紙面をお借りいたしましてお願い申し上げます。

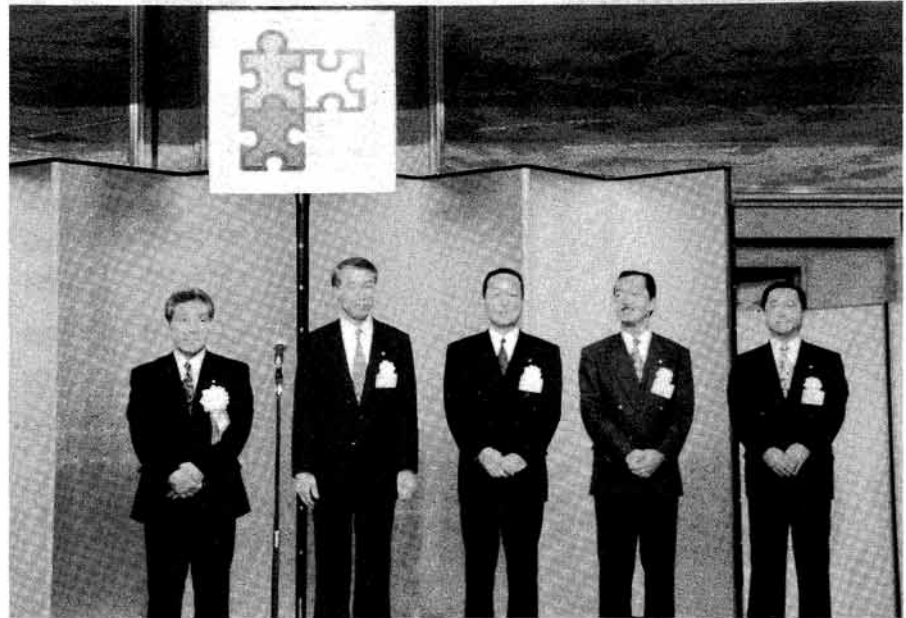
の理念を全国に広めていきます。

平成8年11月18日、いよいよ本格活動開始!!

「発足記念チャリティパーティ」に394人

「私たちはノーマライゼーションの理念を全国に広めていきます—発足記念チャリティパーティ」—昨年11月18日、横浜ロイヤルパークホテルニッコーで、「全国障害者福祉援護協会」が発足式を挙げました。障害者福祉の発展に向け全国規模の民間の支援団体として準備を進め、この日めでたく披露しました。会場には各方面からの出席者さらには来賓を含め394人の方々の御臨席のもと、発足を祝いました。

私たちはノーマライゼーションの理念を全国に広めていき
 全国障害者福祉援護協会 発足記念チャリティパーティ



壇上は常任理事
 (左から永田近理事長、間野和彦専務理事、廣田正明常任理事、柴田俊明常任理事、田中宏常任理事)

11月18日午後6時30分からの発足式は、木下伸一（日本鋼管京浜製鉄所労働組合副執行委員長であり協会の理事）の司会でスタート。全国障害者福祉援護協会の理事長・永田近が協会の趣旨、今後の活動内容等に触れ、挨拶を行いました。続いて来賓として社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長および社会福祉法人日本盲人会連合会長・村谷昌弘氏、神奈川県副知事・室谷千英氏、横浜市助役・小椋進氏、川崎市助役・深瀬幹男氏、連合神奈川県長・金子正昭氏が祝辞と激励の挨拶（別掲）を送られました。

引き続き協会の応援者であるオペラ歌手・白石敬子氏がピアノ・白石隆生氏の伴奏で歌を披露。全員が会場内に響きわたるソプラノの醍醐味を味わいました。そして神奈川県交通運輸労働組合常任顧問であり協会の理事・菊地富美男氏による乾杯に続き歓談に入りました。

国会議員、神奈川県議員、横浜市議員、川崎市議員の紹介の後、各企業より協賛された200点以上の賞品によるチャリティ抽選会が竹田有二氏の司会で行われ盛り上がりを見せました。

最後に協会の専務理事・間野和彦による盛大な3本締めで、2時間30分に及んだ発足式はお開きとなりました。

障害者福祉のさらなる推進に向けて

会場ステージには協会のテーマ「私たちはノーマライゼーションの理念を全国に広めていきます」の文字、その下には協会のシンボルマークが掲げられ発足式にふさわしくパーティの雰囲気盛り上げました。

1982年より横浜市を中心に民間ボランティアとして、障害者福祉活動を続けてきたチャレンジメン援護協会が、各障害者福祉団体と相談を行いながら全国規模の民間の支援団体として横浜市に「全国障害者福祉援護協会」を新たに設立。今回の発足式を機に常任理事を始め各理事が障害者福祉のさらなる推進に向けて努力・邁進する意気込みを会場全体にみせられました。



私たちはノーマライゼーション

ご挨拶

当日出席されたご来賓の方々から
ご挨拶をいただきました。



障害者に力を!!

社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長
社会福祉法人日本盲人会連合会長

村谷昌弘氏



「全国障害者福祉援護協会」のお誕生
心よりお祝い申し上げます。

全国には「身体障害者」と言われる
耳の聞こえない、目の見えない人たち
また手足に障害のある人や内部疾患の
ある人たちは272万3千人(平成3年
厚生省の推計)います。「国際障害者年」
や「国連障害者の10年」そして我が国
では障害者対策に関する長期計画をたて、
これによって多くの障害者が街に出、
目に触れるようになりました。障害者
とは必ずしも身体障害だけではなく「精
神薄弱者」知的障害者「また」精神障
害者「これらの人たちを含めると全国
で約500万人いると言われています。
彼ら彼女らは決して人間性に何ら変わ
りありません。何とか一人立ちしたい
と思っっているのです。その時皆さん方
の「手」を「耳」を「目」をちょっと

貸していただければ、皆様と同じよう
に活動することが可能になります。全
国障害者福祉援護協会をはじめ皆様方
の熱いお力添えを賜りますことをお願
い申しあげまして、お祝いの言葉に替
えさせていただきます。

継続は力なり!!

神奈川県副知事

室谷千英氏



発足おめでとうございます。

チャレンジメン援護協会のボランティア
活動から今日まで15年続いているこ
とはまさに「継続は力なり」と改めて
痛感いたしました。

神奈川県は平成6年に「第2次障害
者福祉長期行動計画」を立て、「ノー
マライゼーション」を基本理念に位置
づけております。社会基盤の整備をは
じめ行政の事業が数多くあり、民間の
方々の力を借りなければ進まないもの
も沢山あります。こうした中で民間の
ボランティア組織が神奈川県に発足し
たことは非常に心強い限りです。

平成10年には「かながわ・ゆめ大会」
が開催され、同時に「全国身体障害者
スポーツ大会」が開催されます。是非
皆様方のご協力を頂きたいと存じます。
「全国障害者福祉援護協会」のますま
すのご発展とご活躍をお祈り申し上げ
ます。

今後の活動に期待する!!

横浜市助役

小椋進氏



本日は高秀横浜市長からのメッセージ
を代読させていただきます。

発足誠におめでとうございませす。心か
らお祝い申し上げます。

貴協会は横浜市行政目的と一致するも
のがあり、今後のご活躍を期待してお
ります。

市では平成8年度より7年間「障害者
プラン」を策定しこれは「ノーマライ
ゼーション7ヶ年計画」とも呼ばれて
います。「介護サービスの充実」や「障
害者に配慮した街づくり」など国と地
方が一体となって施策の推進に努める

事を定めました。

平成10年には「第34回全国身体障害者スポーツ大会」。2008年に「パリンピック」を開港150周年記念事業として横浜市で開催します。スポーツを通して障害のある人もない人も共に生きる平和な社会を築いていくことに大きな意味があり、是非皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共に 頑張りましょう!!

川崎市助役

深瀬 幹男 氏



本日はおめでとうございます。発足までのご苦労に感謝と敬意を表します。

川崎市に「障害者問題推進協議会」を設置し、都市づくりから考えていかなければならない。教育・文化・スポーツ各分野で障害者がどのようにたずさわるのか、利用するのか、総合的な対策が必要と考えます。しかし行政には

限界があり、貴協会の助けが必要になってきます。市民の層を厚くし私たちも共に頑張り参ります。

協会のみならずのご発展とご健勝お祈り申し上げます。

参画・協力していきます!!

連合神奈川会長

金子 正昭 氏



永田理事長は私たちの仲間であり、共に闘ってきた戦友であります。

自らのライフワークとして畑違いの協会に飛び込んだ勇氣と決断に心から敬意を表します。

協会の活動に連合神奈川も微力ながら協力をさせていただきたい。ノーマライゼーションの理念は現実の社会ではまだまだ生きていない。ハード面の努力と共に私たちが今やらなければいけない事は「そと手をさしのべる」あるいは「貧者の一灯を灯す」といった心根が大切であります。誰でもが安心して暮らせる社会づくりに参画・協力していきたいと考えます。

ご協賛ありがとうございました。

発足式を開催するにあたり皆様から抽選会賞品・記念品と多くの品々をご協賛いただき誠にありがとうございました。紙面をお借りして各協賛企業を掲載させて頂きます。

- | | |
|--------------|----------------------|
| 旭化成工業(株) | 日本交通管制技術(株) |
| アルファシステムズ(株) | 平野電気(株) |
| (株)佳央主 | 富士ビバレッジ |
| (有)かもめツーリスト | (株)豊和トラベルサービス |
| キリンシーグラム(株) | マツトレードサービス(株) |
| 劇団ピッカリ座 | (株)村上義一商店 |
| 三和物産(株) | (株)リアル・エステート・エージェンシー |
| (株)しょういん | 竜童建設(株) |
| (株)しょういん横浜 | (株)リョービ |
| 日本健康ファミリー共済 | ロイヤルパークホテルニッコー |
| NKK | |

(アイウエオ順)

目 録

- 1曲 私のお父さん(ブッチーニ作曲オペラ「ジャンニスッキより」)
- 2曲 はまへのうた
- 3曲 ウィーン我が夢の街(シーチンスキー作曲)



オペラ歌手
日本人として初めて、ウィーン国立歌劇場の専属歌手となり国際舞台で活躍されてきた本格派のオペラ歌手。

白石 敬子 氏

ピアニスト・指揮者
ウィーン国立フォルクスオーパーの副指揮者として10年間活躍されウィーン市名誉金賞を贈られ、ピアニスト・指揮者として幅広く活躍。

白石 隆生 氏

社団法人 神奈川労務安全衛生協会「労災上乗せ共済」のご案内

全ての従業員が安心して働ける職場づくりのために……

- 特徴— ▶掛金は通常の50.5%引を適用しています。 ▶掛金は全額損金処理ができます。
- ▶無記名方式で年齢制限もありません。

掛金例 事務従事者の場合、死亡500万円コースで月額 i 名の掛金はわずか **60円**

詳しいお問い合わせは：社団法人 神奈川労務安全衛生協会 TEL. 045-662-5965
全国障害者福祉援護協会 TEL. 045-411-0294

常任理事紹介

- 理事長 鉄鋼労連 日本鋼管製鉄労働組合連合会 前中央執行委員長 永田 近
- 専務理事 社会福祉法人緑峰会理事 間野 和彦
- 常任理事 (株)村上義一商店代表取締役社長 田中 宏
- 常任理事 (株)しょういん代表取締役社長 廣田 正明
- 常任理事 (株)ジェイワイズ代表取締役社長 柴田 俊明

理事紹介

- 天門 太陽 日本交通管制技術(株) 代表取締役社長
- 石丸 隆義 川崎工業倶楽部 主査
- 井上 秀一 (株)ジャパンファミリーサービス 常務取締役
- 内田 喜一郎 竜童建設(株) 代表取締役社長
- 海老原 昇 日本鋼管本社労働組合 執行委員長
- 勝田 稔 (株)マネジメントサービス 代表取締役社長
- 金子 詔二 日本経営者団体連盟(日経連) 労政部長
- 神尾 秀男 日本鋼管(株) 京浜製鉄所設備部第二機械室
- 河手 利彦 (有)河手特殊染染 代表取締役社長
- 川西 博孝 日本健康ファミリー共済 理事長
- 菊地 富美男 神奈川交通運輸労働組合 常任顧問
- 木下 伸一 日本鋼管京浜製鉄所労働組合 副執行委員長
- 草間 茂行 東京国際通信(株) 代表取締役社長
- 後藤 辰夫 新日向(株) 代表取締役社長
- 小柳 英男 (株)エイセキ 代表取締役社長
- 塩崎 春夫 日本鋼管労働組合連合会 副中央執行委員長
- 高橋 正 (株)クラスター 代表取締役社長
- 竹永 泰治 マックス・ジャパン 代表取締役社長
- 竹花 敏夫 衆議院議員 西川知雄氏 秘書
- 立石 昌一 (株)協同制作 代表取締役社長
- 丹藤 睦子 日本鋼管病院 看護婦長
- 堂 国昭 (株)三井建設横浜支店 川崎総合工事事務所 所長
- 常盤 秀夫 トーヨー建設(株) 取締役営業本部長
- 中込 信子 (株)リアル・エステート・エイジェンシー 代表取締役副社長
- 長澤 明彦 NKK常務取締役
- 西 貴義 (株)有徳社 代表取締役社長
- 二宮 正弘 関東通信事業協同組合 専務理事
- 橋本 憲明 (株)アルカ 取締役チーフプロデューサー
- 平野 忠弘 平野電気(株) 代表取締役社長
- 本田 均平 旭化成工業(株) 財務部部长
- 本多 隆則 ブルデンシャル生命保険(株) 船橋支社長
- 真壁 忠利 連合神奈川 事務局次長
- 三上 将一郎 アルファシステムズ(株) 取締役営業部長
- 森 敏明 横浜市議会議員
- 山田 久美 株式会社ポジション 代表取締役社長
- 若林 保雄 慶幸楼 代表取締役社長

シンボルマークの説明 & ノーマライゼーション



シンボルマーク

ジグソーパズルはワンピース欠けただけでも完成しません。一つ一つ個性的な存在が協力し合ってこそ一つの形をなしていきます。人も同じ。一人一人が互いに助け合い協力し合って初めて、より良い社会が形作られていくのです。

ノーマライゼーションとは

障害者も高齢者も特別視されることなくすべて人間として、普通の生活を送ることのできる社会こそノーマルであるという考え方。

赤恥かかないマメ知識(1)

日頃何気なく使っている言葉でも勘違いしている場合が結構あるものです。このコラムではそういった言葉を取り上げてご紹介していきます。

役不足

例えば町内会の会長をお願いするとき「あなたのような立派な方にはこんな役では役不足でしょうが、どうかお引き受け下さい。」といった使い方をします。つまりその人の力量に比べて役が軽すぎる場合に使います。ところがよく間違えて使われていて最近テレビのCMでも聞いた覚えがあるのが「おまえじゃ役不足だぜ。」という反対の意味の使い方。これは「力不足」と「役不足」を混同してしまったものと思われれます。こうなると意味は反対になっ てしまいます。言った人も言われた人も正しい使い方をしているか、又は双方とも間違っているかは問題にならないかもしれませんが、片方は勘違い、片方は正しく理解していると、とんでもないことになりそうな言葉です。



他にもこういった勘違いしている人の多い言葉をお寄せ下さい。採用させていただいた方には、全国障害者福祉援護協会オリジナルテレカを差し上げます。

「第1回手話教室」開催

平成8年11月25日から初級コース・第1回手話教室スタート。20名が参加して今年4月28日まで20回行われる。

全国障害者福祉援護協会が、横浜市の後援、そして横浜市聴覚障害者協会の協力のもとに「第1回手話教室」を神奈川県民センター（横浜駅西口）で開催。定員20名の受講生が集まり11月25日午後7時より初日がスタート。横浜市聴覚障害者協会より派遣の米山恵子講師及び高崎和彦アシスタント講師により行われた。20名の受講生のほとんどが初体験で、はじめは不安な面持ちで緊張していたが、米山講師のやさしくユーモアを混ぜた授業が始まると、笑いが受講生からでるほど楽しく、初心者でも非常にわかりやすい初級コースにふさわしい講習会であった。今年4月28日まで20回と長丁場になるが、全員欠席もしないで最後まで受講してもらいたいと当協会は願っております。



誰でもできる手話教室 (第1回)

明けて おめでとうございます

【正月】



両手人差し指を左右から体の前で上下に置く

【言う】

【おめでとう】



人差し指を口から前に出す



つまんだ両手を上へ上げながら開く

昨年10月12日、 横浜市身体障害者団体連合会理事会に出席。 当協会の趣旨・理念の説明を行う。

当協会理事長・永田近が昨年10月12日、新横浜にある社団法人横浜身体障害者団体連合会へ浜身連を訪ね、原孝夫理事長、三浦辰男専務理事と挨拶を交わしました。その日行われた浜身連の理事会に出席。冒頭で浜身連に所属する各団体へ当協会の趣旨・理念を説明してきました。



全労済



人生の節目には、 保障を見直そう。

「こくみん共済」は「ここがちがう」という点がたくさんあります。負担が少なく、大きな保障が得られる。保障範囲がワイド、手軽に申込み手続きができるなど。全労済ならではの加入者の立場に立った思いやりが信頼され、全国のたくさんの方々には選ばれ続けています。あなたも、選ばれる理由をじっくり確かめて、暮らしの安心を育てませんか。

選ぶならやっぱり
こくみん共済

個人定期生命共済

人にやさしく。地球にやさしく。



全労済は「自然環境」と「高齢者」のための活動・研究を応援しています。

「保障の共済」だから、ね。

全労済神奈川県本部
045-473-6031

〒222 横浜市港北区
新横浜2-4-9

ご意見拝聴

CHALLENGE21編集部では全国障害者福祉援護協会に対するご意見・ご希望。福祉・ボランティアなどに関するご意見・ご感想をお待ちしております。まだ誕生したばかりのCHALLENGE21です。今後皆様からの情報をできる限り、紙面を通して伝えていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

郵便またはFAXにてお送りください。

全国障害者福祉援護協会

〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295

今後の主な活動内容(1月~4月)

1月 *手話教室の開催(横浜市)

2月 *横浜市視覚障害者福祉協会と共催でノーマラ イゼーションの理念についてのフォーラムを 開催(横浜市)

*手話教室の開催(横浜市)

3月 *手話教室の開催(横浜市)

4月 *川崎市在の労働組合と共催でノーマライゼー ションの理念についてのフォーラムを開催 (川崎市)

*手話教室の開催(横浜市)

ボランティア活動をしてみませんか?

ボランティア要員募集!!



ボランティア活動をしてみませんか。ボランティア要員を募集しております。貴方のボランティア活動のお手伝いをします。

ある調査によりますと、現在ボランティア活動に60%の人が参加してみたいと思っており、実際に参加した人は10%だそうです。

ボランティア活動してみたいが、何をすればよいのか? 何処に行けばよいのか? 何時に行けばよいのか? 思い悩んでいる方が大勢おられることと思います。

「全国障害者福祉援護協会」ではボラ

ンティア要員を募集し、皆様が気軽にボランティア活動に参加できる機会を紹介してゆきます。

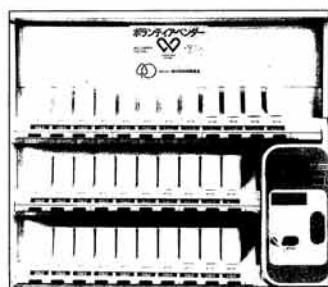
自分が得意としている事で、自分が参加できる所で、自分が参加できる時にボランティア活動に参加してください。

参加して頂くためには、「全国障害者福祉援護協会」に個人であるいは団体(企業、労働組合、町内会、学校、趣味の会、スポーツ・チームなど)で登録して頂きます。

登録して頂いた方々に個々にボランティア活動の紹介をしながら参加して頂きます。

お問い合わせ/ 全国障害者福祉援護協会 事務局/ 細川・酒井
TEL.045-411-0294

新しいボランティア活動にご協力ください。



お求めはこのステッカーのある自動販売機で



任意の場所に貼付可能な専用ステッカー
ボランティア・ベンダー(VV)協会

ステッカーのある自動販売機で缶飲料を購入すると、自動的に代金の一部がボランティア・ベンダー協会を通じて、全国障害者福祉援護協会に寄付され、障害者福祉活動に役立てられます。

全国障害者福祉援護協会

〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
TEL:045-411-0294(代) FAX:045-411-0295

ご協力ありがとうございます。
 本年も引き続きご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

- (株) 伊藤ビル
 - (株) エイセキ
 - (株) エーディーエー
 - (株) 大熊整美堂
 - (株) クラスター
 - (株) サンエープロセス
 - (株) ジェイ・エス・エス
 - (株) しょういん
 - (株) シンプル
 - (株) セレモネット
 - (有) ディーキャット
 - 日本健康ファミリー共済
 - NKK
- 日本鋼管京浜製鉄所労働組合
 - 日本鋼管工事株式会社
 - 日本鋼管労働組合連合会
 - 日本交通管制技術 (株)
 - (株) ノーバスインターナショナル
 - プルデンシャル生命保険 (株)
 - (株) マネジメントサービス
 - 間野商事 (有)
 - (株) 村上義一商店
 - (株) 有徳社
 - 竜童建設 (株)

(アウイ順)

このコーナーでは当協会の法人会員をご紹介します。
 今回は誌面の都合上24社のみの掲載になりますがご了承ください。

全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

事務局は横浜駅西口徒歩5分
 お気軽にお立ち寄りください

法人会員 1口 10,000円/月
 個人会員 1口 1,200円/月

別紙の「加入申込書」にご記入の上、当協会までお申し出ください。
 お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局まで

TEL:045-411-0294

ヨイヒト ワフクシ



CHALLENGE21創刊号

発行者: 全国障害者福祉援護協会
 編集人: 永田 近
 発行日: 1997年1月1日第1号 (創刊号)
 所在地: 〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3
 伊藤ビル
 TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295

<p style="text-align: center; font-weight: bold;">シンポジウム・イベントの開催</p> <p>各種イベント等を通じ、ノーマライゼーションの理念の普及を行います。</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">障害者団体への寄付</p> <p>障害者団体等への、寄付を定期的に行います。</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">高齢者福祉活動</p> <p>高齢化によって障害をもった方への福祉活動を行います。</p>
<p style="text-align: center; font-weight: bold;">ボランティア活動の支援</p> <p>ボランティア活動に参加・支援します。</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">各種研究活動</p> <p>バリアフリー社会を目指し、障害者用の住宅、公共施設等の研究活動を行います。</p>	<p style="text-align: center; font-weight: bold;">広報活動</p> <p>広報誌の発行、出版等を行います。</p>